

講座報告
盛岡

連続講座in盛岡

渡部ミヲ

盛岡で初めて紙芝居文化の会の講座が開かれたのは二〇一二年でした。この時は、震災支援というところもあり、全国より百三十余名の参加がありました。紙芝居の講座は初めてという人も多く、紙芝居への認識を新たにしたい会でした。以来、十年が過ぎ、コロナ禍のため中止・延期を余儀なくされ、やっと開催できた今回の連続講座でした。受講生は二十四名で、六月十九、二十六、七月三日に開催。

全く初めてで、紙芝居を演じたことがない人、文化の会の講座を既に受けたことがあるという人、紙芝居についてある程度の知識を持ち演じているという人等が集まりました。コロナ禍の中にあるので、気楽に話しかけ情報交換するのは、はばかられるような少し緊張した雰囲気が始まりました。

しかし、紙芝居の本質を目に見えるように理論化した過程など、講師の実体験に基づいた話に引きつけられ、紙芝居の奥深さ・魅力を感じることができました。また、実演を通して、講師、受講生がお互いに作品への取り組みを出し合っただけでなく、検討し合う中で、その成果を共有することが大事と深く思いました。二回、三回と講座が進むにつれ、少しずつ緊張がほぐれ、受講生それぞれに積極的な様子が見られるようになりました。ここから紙芝居の輪が更に広がりますように。(会員・絵本・紙芝居ボランティア・岩手)

熱心に聞く会場の様子
おすすめ紙芝居が出番を待っています



おおきくおおきくおおきく……
紙芝居ができるまでを聞く



さあ、今日はおどんなお話が聴けるかな？

